



## 減らそう犯罪

## 特殊詐欺被害に注意

昨年、広島県内での特殊詐欺被害は認知件数372件、被害総額14億136万円、安芸高田市内においては、認知件数2件被害総額278万円であり、今年に入っても県内で多額の被害が既に発生しております。市内では、現在統計上は0であります。既に架空請求詐欺や還付金詐欺で振込を行ったが相手口座が凍結されていたことから、現金が返ってきたという事例が発生しております。

- ・ 電話でお金を送れ、振り込め
  - ・ 名義を貸してほしい
  - ・ 還付金があり、切は今日までです
- といった内容は全て詐欺です。



### 安芸高田警察署交通ミニコーナー

H28.4末現在  
安芸高田警察署管内

#### ●平成28年交通事故発生状況(年間累計)

区分	平成28年	平成27年	前年同期比増減数
人身事故	33件	29件	4人
死者数	1人	1人	0人
負傷者数	48人	38人	10人

#### ○管内交通事故の特徴

- 3月中の交通事故の特徴は
- ・ 脇見による追突事故 4件
  - ・ 交差点における出会い頭衝突 3件
  - ・ 右折車と直進者による側面衝突 1件
  - ・ その他 2件 でした。

このような電話が掛かってきたら、すぐにお金を払わずに、まずは警察、市役所等に相談をしましょう。

☆広島県警では、「年間特殊詐欺被害額10億円以下」の達成に向けて「アンダー10作戦」をキャッチフレーズに特殊詐欺被害防止に向けた取り組みを展開しています。市役所危機管理課では、防犯講習の出前講座を実施しております。お気軽にご相談ください。



#### ★交通死亡事故発生

- ・ 4月28日に向原町長田の県道広島三次線において、普通乗用車が中央線をはみ出し衝突して男性1名が死亡
  - ・ 高宮町船木の市道をトラクターで走行中の男性が運転を誤り水田に転落し死亡
- 5月6日から5月15日までの間、交通死亡事故多発警報を発令しました。運転する際は、スピードの出しすぎに注意し交通事故を起こさないようにしましょう。

#### 平成28年広島県交通安全キャッチフレーズ

『なくそう交通死亡事故・アンダー90』



市民の皆様のご支援を  
お願いします！

市は県内の自治体の中でも積極的に多文化共生を進めています。多文化共生とは、文化的背景の異なる人々が互いに相手の文化を尊重して、互いに住みやすい空間を作り出していくことです。文化という点、日本と外国の文化と考えるが、実際には女性と男性、高齢者と若者、障がいのある方と様々な文化的背景の異なる人がいます。みんなが気持ちよく過ごせる空間を目指している活動とも言えます。したがって、市では人権や男女共同参画を扱う部署が多文化共生も担っています。

この多文化共生に県立広島大学もプロジェクトとして関わっています。このコラムもその一環です。この他、人権講座等でも講演を行ったりしています。なかでも私が大切にしたいのは、中学校での多文化共生入門講座です。講座を受

### 違う文化から日本を考える

### 人権多文化共生推進課 ☎42-15630

けた中学生が自分と文化が異なるからと言って、安易に「変だ」とか「おかしい」と言わないようにしたいと思ってくれたことがとても嬉しいのです。日本人同士の間でもそうあってほしいし、その考え方は、いじめの防止にも少しは役立っていると思っています。

今年度始める事業に、本学の留学生の力を借りて、市にある案内があります。言葉が通じないと日本国籍市民も外国籍市民も困ります。現在、市には多文化共生推進員や相談員、翻訳・通訳員のスタッフが4名いて、英語、ポルトガル語、中国語に対応しています。彼らの仕事の一助になり、言葉の問題を少しでも解消できればと思います。今年度も市民の皆様のご支援をお願いいたします。

(文) 県立広島大学  
上水流 久彦 准教授

## 支えてくれる人がいる

全国大会の応援にかけつけられた保護者の方(姉ヶ山さん)からお話を聞きました。

甲田中のチームは他のどのチームより本当に粘り強さを感じました。この優勝した経験が子ども達の成長につながってくれると信じています。保護者としてこれからも、監督や子ども達を信頼し、見守る姿勢で協力していきます。地域の方々からは祝福の言葉を多くいただきありがとうございました。



## 仲間がいる

## 練習を一緒にした

## 祝福の言葉

甲田中ハンドボール部のみなさん、春中優勝をおめでとうございます！みなさんの優勝を聞き、正直すごく驚くと同時に、自分のことのように嬉しく思いました。この優勝はみなさんが日々の練習を精一杯やってきた成果だと思います。本当に素晴らしい結果です。夏の全中でも優勝できるように、「謙虚な姿勢」と「感謝の気持ち」を忘れず頑張ってください。これからは甲田の時代ですね！宮城から応援しています！

(トヨタ自動車東日本レガソック  
玉井 宏章 氏)

念願の初優勝を果たした甲田中学校の皆さん、優勝おめでとうございます。皆さんのこの度の活躍は、学校関係者、市ハンドボール協会をはじめ、多くの関係者、そして市民の皆さんに感動と勇気を与えてくれました。これからは全国のハンドボール仲間の目標になります。今後は夏の大会での全国制覇、そして男女でのアベック優勝目指して厳しい練習に挑戦してください。今後の活躍を期待しています。

(教育委員会 教育長 永井 初男 氏)

第11回春の全国中学生ハンドボール選手権大会優勝を祝し、心よりお喜び申し上げます。日々の努力が結果として表れた事はこれからの自信、経験に繋がると思います。広島県勢として初の全国優勝は大変喜ばしいことです。全国優勝は誰もが経験できることではありません。今後はほかのチームから追われる立場になると思いますが、挑戦者としての気持ちを忘れずに、残りの大会も頑張っていたいただければと思います。地元甲田町に明るいニュースを届けて頂けたこと感謝しております。

(広島県立祇園北高等学校 教諭 坂本 伸博 氏)

第11回春の全国中学生選手権大会優勝、誠にありがとうございます。並み居る強豪を制しての快挙は、日頃の鍛錬の成果であり、同時に勝利に対する執着心がどのチームよりも勝っていたものと、心より感服しています。また、広島県勢として「初優勝」はワクナガレオリックにとっても大変喜ばしく、大きな感動と勇気をいただきました。この度の優勝を糧に、来期もさらなる活躍を期待しております。

(湧永製薬株式会社社長 湧永 寛仁 氏)